

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和5年度 第3回加東市健康増進計画等策定委員会
開催日時	令和6年2月27日(火) 13時30分から15時05分まで
開催場所	加東市役所 2階 保健センター 健康教育室1
<p>議長の氏名 (岡本 希)</p> <p>出席委員の氏名</p> <p>岡本希、神弘文、服部知一、春藤由里子、山本貞江、深田初枝、岸本豊子、楯本俊也、井上裕子、小林大貴、鷹尾義人</p> <p>欠席委員の氏名</p> <p>漆下重貴</p>	
説明のため出席した者の職氏名	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>健康福祉部長 近澤孝則、健康福祉部参事兼健康課長 細川公代、健康福祉部健康課副課長 岩崎香織、下崎ユカ、健康福祉部健康課主査 尾上加奈、浅葉由起、吉田里奈、健康福祉部健康課主事 立貝萌</p>	
<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 健康増進計画策定のためのアンケート調査結果と課題整理について</p> <p>(事務局)</p> <p>配付資料と進め方、資料1の第1章(1~3ページ)について説明。</p> <p>(議長)</p> <p>説明が終わりましたので質疑に入ります。意見等のある委員は挙手をお願いします。</p> <p>(委員)</p> <p>2ページの「がんの早期発見と予防対策の推進」の課題のまとめに、「がんになり患しても安心して暮らせる環境を整備することが必要」とあるが、具体的にどういうことですか。</p> <p>(事務局)</p> <p>現行計画にも同様の内容を載せています。若年者在宅ターミナルケア支援事業では、若い世代のがん患者で介護保険サービスの対象外になる方が利用できるサービスの設置や、アピランスサポート事業では、がん患者の医療用ウィッグ等が必要になった場合の費用</p>	

を助成するなど、がんになっても安心して暮らせる環境を整備することです。

(委員長)

他に質問はありませんか。ないようですので、次に進みます。

(事務局)

資料1の第2章(4～7ページ)について説明。

(委員長)

説明が終わりましたので質疑に入ります。意見等のある委員は挙手をお願いします。

(委員長)

7ページの「社会環境の整備」(ソーシャルキャピタル)についてですが、市町村ごとに比較して、社会環境のレベルが高いというのは、例えば、ウォーキングできるような道があると、住民の方が、図書館や市の公共施設の利用がしやすいと思っている地域でしたら、住民の方の平均寿命や健康寿命が長いというような疫学調査では、国際的にも国内でもエビデンスがあります。なので、市町村行政は社会環境の整備に非常に力を入れていて、加東市においてもそこに力を入れていくということだと思います。

(委員長)

他に質問はありませんか。ないようですので、次に進みます。

(事務局)

資料1の第3章(8～13ページ)について説明。

(委員長)

説明が終わりましたので質疑に入ります。意見等のある委員は挙手をお願いします。

(委員)

課題のまとめに対しての具体的な取り組み内容はすでに決まっているのですか。その内容次第では課題解決にならないのではと思います。

(委員長)

いろいろな組織の代表の方が集まっているので、市が説明した行政の取り組みや課題のまとめなどに対して、今、ディスカッションできる場ですので、アイデアを聞かせていただきたいと思います。

(委員)

「栄養・食生活」のところでは、食べさせることに目的が向いているような気がするのですが、どんなものを食べるかを伝えるほうが良いと思います。また、「発信していきましょ

う」と書いていますが、どんな人に、どんなところで発信するかが問題な気がします。

あとは、運動では、女性の結果が下がっていると書かれていますが、日常生活の運動量がどれだけあって、どんな意識して、どんなポイントを押さえてやるかというのが、伝えられれば、それだけで十分な運動量につながるのではないかと思います。

睡眠は、時間よりも質だと思います。食事と運動と睡眠の関連性も伝えたほうが良いと思います。

あとは全体的に日本や加東市だけでなく、海外との比較を伝えると響く人もいるのかなと思います。ただやっていきましょうということだけを伝えるのではなくて、どんな理由で、どんなリスクがあるかという、中身の部分を伝えていく必要があると思います。30歳代以下の世代に伝え、育てていくことが大切だと思います。

(委員長)

ターゲットが分かりにくかったので、誰に発信していくかを考えるといいのではないかと思います。食事、運動、栄養の関連で海外の事例なども紹介して、目指そうとする生活習慣の根拠の部分も発信していくと、受け手は納得しやすいということかと思えます。また、次世代を担う若手の意見なので、行政も力を入れていただきたいと思えます。

(事務局)

計画の行政の取り組みや市民の取り組みは、引き続き、次期計画の内容に入ってくるかと思えます。大きな方向性の課題として、必要と思われることを今回まとめさせていただいております。計画では細かく具体的に落とし込みにくいところがあるため、次回の会議でのご相談となると思えますが、そういったことを見据えた資料づくりや、根拠を示していくような啓発、若い世代をターゲットにした事業展開を考えるなど、委員が言われた内容をどのように啓発に生かしていくかをきちんと明文化して考えるなど参考にさせていただいて、次回、ご提案ができればと考えております。

(委員)

例えば、身体活動・運動の課題のまとめで、「市民が自ら主体的に健康づくりに取り組みやすい」や、健康を支えるための社会環境の整備に「地域のつながりとなる事業や健康づくり」とあり、地域が主体となって前向きにやる必要があると思えます。行政におんぶにだっこではなく、地域社会の中で健康づくりや整備的な面は、地域の中で地域が主体となって啓発活動を行わなければ、市からこのような話をされてもその時だけで終わってしまうので、それぞれの地区の役員が主体となって事業や取り組みができるようなシステムができるといいと思えます。地域が主体となり、そのサポートを行政が行うことが大事だと思います。

(委員)

今、地域では週1回シニアの方が体操をしていて、重りを付けて足の体操をして歩けるようになったという声もあり、市で工夫をしてくださって成果が出ています。いい方向に行っていると思えますので、増やしていただきたいと思えます。器具の経費が必要なので、市で予算を取ってほしいです。民間の体操教室はお金がかかるので、市役所に健康器具を置いてもらえたら、行ったついでに運動をすることができると思えます。

子ども食堂は、いろいろな家族に遠慮なく来てほしいということだと思えますが、栄養面のことは、どの分野に入るのかを教えてください。

(事務局)

市内のNPO法人が定期的に福祉センターで行っています。学生の学習支援をするボランティアや調理の免許を持つボランティアが入って行われていますが、栄養面については把握していません。誰でも参加できる場所という位置付けです。子ども食堂は、貧困の家庭の孤食やおいしいご飯を食べることができない方が行く場所というイメージですが、誰でも参加して、子どもの居場所として運営されています。もうひとつ、東条の方で、頻度は低いですが民間でされていることを把握しています。

(委員長)

既に活動されているところがあるので、行政が活動をしやすいようにサポートに力を入れてほしいというご意見をいただきました。

(委員長)

他に質問はありませんか。ないようですので、次に進みます。

(事務局)

資料1の第4章、第5章(14～15ページ)について説明。

(委員長)

説明が終わりましたので質疑に入ります。意見等のある委員は挙手をお願いします。

(委員)

地域医療の確保の課題のまとめに、「北播磨圏域内の小児救急体制の確保が困難である」とありますが、これは大変深刻な状況で、特に時間外や休日は、当番医はいますが、小児科は一次救急を北播磨総合医療センターといくつかで回して日曜日は昼間だけ診療しています。一般開業医が小児科を診るところもありますが、例えば1歳未満の子どもや病気によっては診られないこともあります。なぜ診られないかということ、手に負えないので2次救急に送る場合に2次救急が見つからないということが多々あり、大変難しい状況です。改善してほしいとしても市ではどうにもならないので、対策としては病気にならないように、できるだけ感染予防をしていただくことと、保護者の方が働いていて平日に受診できないため日曜日に受診という方も結構おられますが、子どもの様子がおかしい場合は早めに平日に受診していただくことを付け加えていただきたいと思います。

(委員長)

平日に保護者が仕事を抜けて小児科を受診できるような環境づくりをするということは、職場で上司がそれを理解するという事なので、若い20代、30代のお母さんたちがやりやすい環境づくりをするためには、職場の上司にあたる世代に対して、救急が非常に厳しい状況にあるという現状を知ってもらう必要があると思います。

(事務局)

小児救急については、北播磨圏域で健康福祉事務所でも調整をしていますが、小児科医の確保は非常に難しい部分だと感じています。加東市でも、加東市民病院での小児科設置を担当課としてもお願いしていますが、簡単にいかない部分でもありますので、早めの受診や普段からの予防、子どもの異常に早期に気が付けるような取り組み等や、#8000の活用も含めて、周知啓発を続けていきたいと思っています。

(委員長)

他に質問はありませんか。ないようですので、次に進みます。

(事務局)

資料4について説明。

(委員長)

説明が終わりましたので質疑に入ります。意見等のある委員は挙手をお願いします。

(委員長)

これからの計画策定や推進をしていく上でできそうなことがあれば発言をお願いしたいです。行政には、今行われている活動がより発展するように、これからもサポートをお願いしたいと思います。

(委員長)

他に質問、ご意見はないようですので、次に進みます。

(事務局)

資料5について説明。

(委員長)

説明が終わりましたので質疑に入ります。意見等のある委員は挙手をお願いします。

(委員)

18ページに「子ども・若者の自殺予防」とありますが、加東市内での自殺の内訳について知りたいです。生活貧困によるものか、いじめによるものか、職場でのメンタルヘルスなのか、具体的な理由や人数のデータはありますか。

(事務局)

一人ずつの具体的なものについての説明は難しいですが、国から各自治体に地域自殺実態プロフィールというものが毎年届いており、その中に、重点パッケージとして、自殺された方の情報等を分析して、高齢者、生活困窮者、無職者・失業者、勤務・経営が、自殺された方のキーワードとして挙がっている状況です。

(事務局)

加東市のような小さい自治体は人数の表示が好ましくないもので、数年分をまとめて計画ではお示ししています。「いのち支える自殺対策推進センター」から自殺のパッケージでどのような特徴が加東市にあるのかが示されています。資料5の5ページの重点施策でアンダーラインを引いているものが、最新の2023年に届いた加東市に推奨されている重点パッケージになり、この施策を中心に取り組みを考えたいと思っています。

(委員長)

すべての資料の説明が終わりました。全体を通して質疑やご意見がある委員は挙手をお願いします。

議論も出尽くしたように思いますので、本日の議事を終了します。事務局に進行をお返しします。

(3) その他

(事務局)

今後の策定委員会の日程等について説明します。今年度の策定委員会は、本日の会議で終了となります。令和6年度についても3回の会議を予定しています。事前に日程調整をさせていただきますのでよろしくお願いします。

4 閉会

(事務局)

以上で、令和5年度第3回加東市健康増進計画等策定委員会は閉会します。

本日は貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

令和6年3月29日